

# トラフィックデータ取れるんです

## ～高精度データ収集編～

**Presented by**

ベライゾンビジネス 伊賀野康生

[Yasuo.Igano@jp.VerizonBusiness.com](mailto:Yasuo.Igano@jp.VerizonBusiness.com)



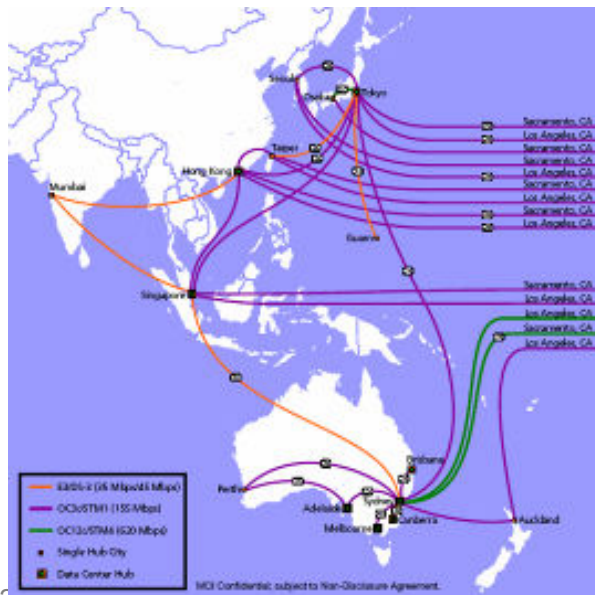
# 簡単に自己紹介

“Verizon Business” = 国際通信会社です



こんなインターネット・バックボーンを持っています

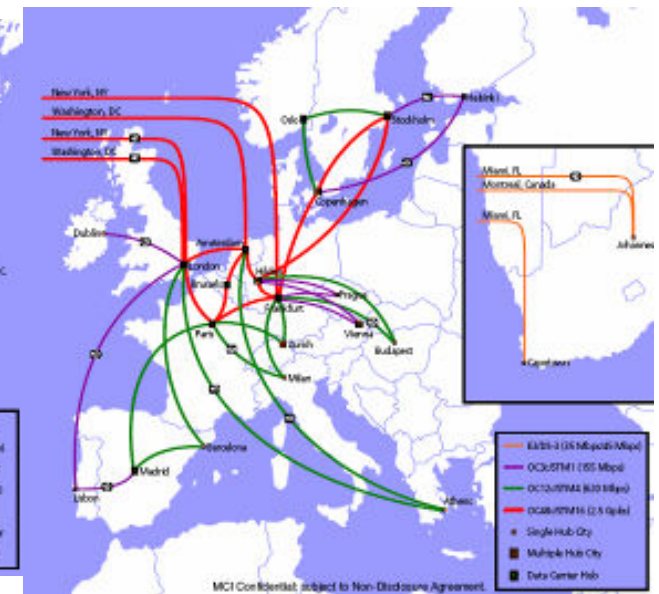
**AS703**  
Asia Pacific



**AS701**  
North America



**AS702**  
Europe



# このプログラムの話題

MRTG等を使った「**トラフィック監視**」

=「各パイプのトラフィック量」のお話もありますが・・・

– お疲れ様でした(松川さん、樽井さん、三ツ木さん、波多さん)

「**トラフィック・フロー・データ解析**」のお話です

– 自分たちの作ったネットワークで

**どんなパケット**が流れているのか？

# お願い

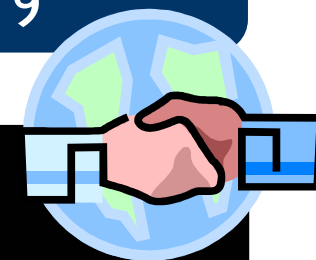
## 「パケット(のヘッダ)を見ても良いの？」問題

–このプログラムでは**Focus**しません

–Verizon Businessの日本法人では、データ収集に関して、通信事業者として必要な業務として認められています

–このプログラム内で発表される内容については、それぞれのスピーカーさんで社内合意が得られている内容です

–でも、「**大人な事情**」と  
「**JANOG Meetingの雰囲気**」をご理解下さい



**verizon**business

# 「トラフィック・フロー・データ」を取る！

## 「Flow Inspection」という考え方

「トラフィック・フロー・データ」の取り扱いにおける、  
技術やプロセスを体系化したコンセプト

### 簡単に言うと・・・

–「トラフィック・フロー・データ」の  
あれこれを知りたいと思うと・・・

»データを**採取**して・・・(**Collection**)

»採取した所から**サーバに送って**・・・(**Transportation**)

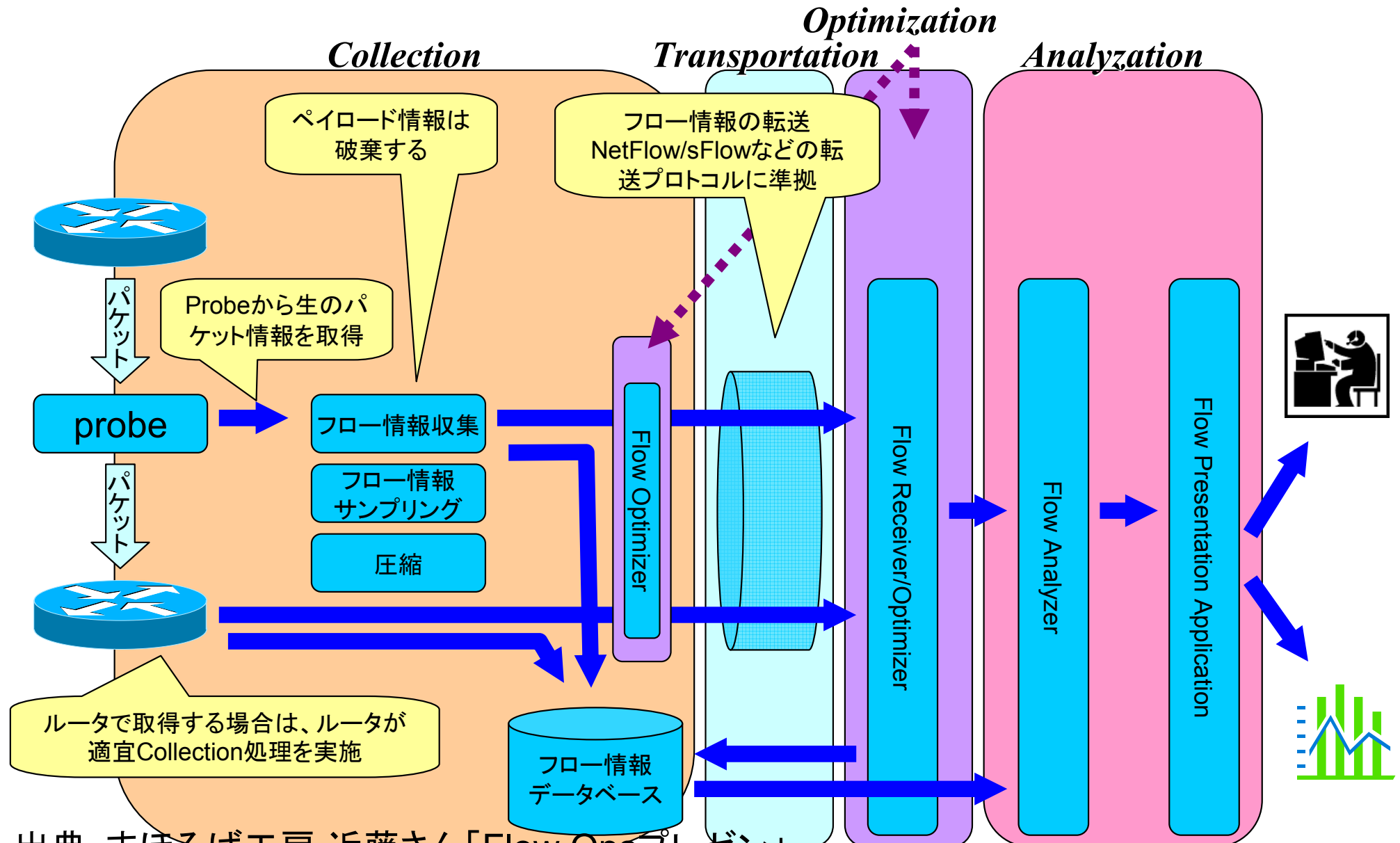
»データ**分析・可視化**・・・(**Analyzation**)

してますよね





# 「Flow Inspection」での各プロセス

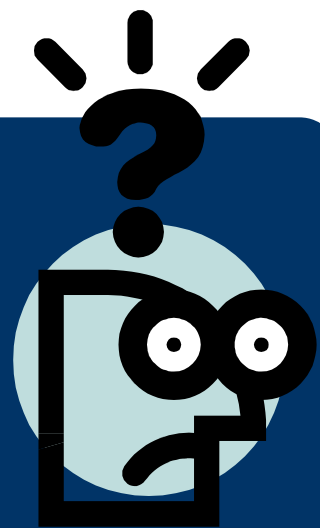


で、今回のプログラムは…

特に、「**Collection**」に着目してみます！

普段、何気なくルータにxFlowのExportの設定を入れている**あなた！！**

ルータ(屋さん)に怒られて、  
「**Sampling Rate**」の指定を  
なんとなく設定してますが、収集された  
データは**どれぐらい正確**なのでしょうか？



# スピーカーさんのご紹介 – その1

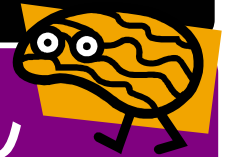
1Gbpsの回線をProbeして、  
「Sampling Rate=1」、つまり、non-SamplingでExportできる  
男らしい機械を作ってしまった人

u10 Networks 新昶さん



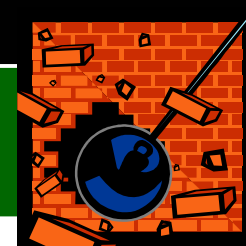
通常のSampledのCollectionと  
non-Sampledの違いについて、熱く語る人

NTTサービスインテグレーション基盤研究所 森さん



ガンガン送ってこられるxFlowのデータをガンガン受けちゃう  
Collectorに詳しい人

ファイブ・フロント 進藤さん



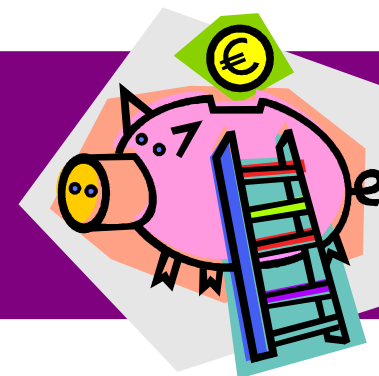


# スピーカーさんのご紹介 – その2

そういった機械を**実環境に入れてバシバシ使ってしまった**勇氣ある人

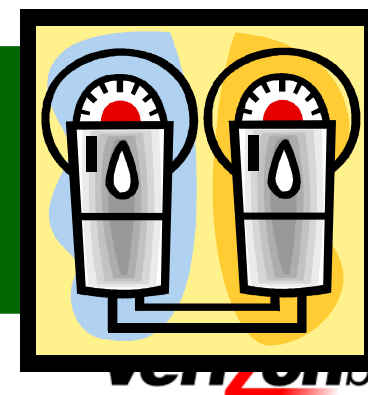
– さくらインターネット 大久保さん

» 課金、不正検出



– 東京電力 岡部さん

» L2分析の例



business

# まとめ

- これ↓を理解してもらえれば、それでOKです  
“Non-Sampling”というモノと必要性

- それ以外は、まとめません！

- 色々たくさんの方が情報があつたと思います

- 分からなかった事、もっと知りたい事があると思います

- この発表のメンバに気軽に声をかけて下さい

- 『おーい、伊賀野お』と呼んで下さいませ

